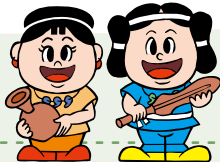


プラン
C

大土居水城跡の保存整備



▲見えてきた1360年前の土塁

水城跡は664年に唐・新羅の攻撃に備えて築かれた、土塁と外濠からなる防塁です。大土居水城跡は丘陵間の谷間に築かれていましたが、現在は県道で分断されています。この遺跡を保護し後世に伝えるため、史跡整備を行いました。整備では史跡の価値を分かりやすく伝え、全体像をイメージできるように模型を設置しました。また、発掘調査によって明らかとなった土塁の構造を解説板で紹介しています。

問い合わせ先 文化財課整備活用担当

☎(501)1144 📠(573)1077

ID1002291